

令和三年二月二十四日受領
答弁第四〇号

内閣衆質二〇四第四〇号

令和三年二月二十四日

内閣総理大臣 菅 義偉

衆議院議長 大島 理森 殿

衆議院議員松原仁君提出香港民主派に対する一斉逮捕に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員松原仁君提出香港民主派に対する一斉逮捕に関する質問に対する答弁書

香港は、我が国にとって緊密な経済関係及び人的交流を有する極めて重要なパートナーであり、「一国二制度」の下、香港において自由で開かれた体制が維持され、香港が民主的及び安定的に発展していくことが重要であるというのが我が国の一貫した立場である。

御指摘の「香港国家安全維持法」施行後の香港の情勢をめぐる動向については、香港の繁栄を支えてきた「一国二制度」の根幹である言論の自由や報道の自由といった基本的な価値の尊重に対して深刻な疑念を抱かせるものであり、お尋ねの「一斉逮捕」は、我が国として、先に述べた立場に照らして許容することはできず、重大な懸念を強めているところである。

我が国としては、こうした立場及び懸念を中国側に伝達しており、また、令和二年六月十八日に発出された「香港に関するG7外相声明」のようにG7を始めとする関係国と連携して対応してきたところであり、引き続き、関係国とも連携しつつ適切に対応していく考えである。